

令和 2 年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分）		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業で、高松市での実施形態として平成24年度までは「ひろば型」と「センター型」に区分していた。平成25年度より実施形態が「一般型」と「地域機能強化型」に区分変更されたため、高松市では機能強化型として3施設を選定した。平成26年度より地域機能強化型が再編され、利用者支援が加算事業として特出しされることになり、高松市では利用者支援について、地域子育てコーディネーター事業として平成26年度より委託実施している。

2年度概要
「一般型」運営方法
・委託継続10か所（NPO法人、医療機関、社会福祉法人、子育て支援団体）※利用者支援事業3か所含む
・直営2か所（各キッズセンター）

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象（何を）	乳幼児及びその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭の育児への負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 開催日数	日	3,115	3,060	3,028	3,050	3,050
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
利用者数	人	目標値	79,500	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値	77,162	78,478	68,484		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標には至らなかったが、子育て親子にとってはニーズが高い。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、行事や交流等の機能を縮小した。	100000	(目標達成度)					(達成度) 85.6%
							29点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	1	(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	118,470	130,351	129,156	129,660
（事業費）	[千円]	112,400	112,202	110,945	111,449
（職員人件費）	[千円]	6,070	18,149	18,211	18,211

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

委託団体10か所と直営2か所で拠点事業を実施し、子育て家庭の育児への負担感の緩和が図れた。利用者のニーズは多種多様であるため、幅広い情報の収集が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

利用者支援（コーディネーター事業）を広く周知し、エリア内の各子育て支援拠点と関係機関との横断的連絡連携を図りながら子育て支援の充実を目指す。

令和 2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園総務課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2359
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	地域子育て支援拠点事業（こども園総務課分）		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域の子育て支援機能の充実等を図るため、私立保育所が実施する地域子育て支援拠点事業に対して助成を行う。実施形態として、センター型、小規模型指定施設（21年度まで）等がある。主に在宅の子育て家庭を対象に、育児相談・援助を始め、子育て親子の交流の場の提供、コミュニティセンターなどでの育児講座を実施するものである。		
2年度概要	地域子育て支援拠点事業実施施設 17か所 センター5日型 15か所 センター6～7日型 1か所 小規模型 1か所 (利用者支援事業 1か所)		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	私立保育所及び認定こども園
意図（どのような状態にしたいか）	子育て家庭に対する支援機能の充実等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 交付対象施設箇所数	か所	19	17	17	17	20
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
地域子育て支援拠点事業相談件数	件	目標値	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
		実績値	14,760	14,956	15,856		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちに貢献することができた。 (目標達成度)							(達成度) 133.2% 35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	155,508	131,353	134,651	134,651
（事業費）	[千円]	154,749	130,597	133,892	133,892
（職員人件費）	[千円]	759	756	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 子育て家庭に対する支援機能の充実等を図った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 業務委託施設から提出を受ける実績報告の添付書類の簡素化等により、両者の事務量を削減する。			

令和 2年度 (31年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども家庭課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2353
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	子ども医療費助成事業		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	1 2歳年度末までの子どもを対象に保険診療にかかる高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。 1 5歳年度末までの中学生を対象に、入院のみ、高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。		
2年度概要	1 5歳年度末までの子どもを対象に保険診療にかかる高額療養費までの自己負担分を県内現物、県外償還で助成。		
重点取組事業	市長マニフェスト	1-⑧	事務事業の類型 ②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	0歳から15歳までの子ども
意図（どのような状態にしたいか）	医療費に係る経済的な負担の軽減を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 支払件数	件	862,135	854,420	846,623	914,822	914,822
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	1	目標値 実績値				

成果指標②	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	1	目標値 実績値				

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	1,749,841	1,701,206	1,702,732	1,977,635
（事業費）	[千円]	1,730,873	1,682,301	1,683,762	1,958,665
（職員人件費）	[千円]	18,968	18,905	18,970	18,970

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 幼児教育の無償化に対する国からの財政措置により、確保できる財源を活用し、令和2年度から通院医療費無償化の対象を中学卒業まで拡大した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 令和2年度から拡充した制度内容での継続が妥当である。			

令和 2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	中央図書館
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-861-4501
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	ブックスタート事業		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子どもが絵本と出会い、想像力を高め、読書の楽しさを知ることにより、読書習慣を身につけるとともに、保護者の子育てを支援する。				
2年度概要	ブックスタートボランティア養成講座 ブックスタートパック配布				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市内の4か月児相談の対象者とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	絵本を介して保護者と赤ちゃんがゆっくり心触れ合うひと時を持つきっかけをつくるとともに、子どもの読書活動の推進につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
① ブックスタートを実施した回数	回	228	216	198	216	216
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
ブックスタートパックを配布した人数	人	目標値	3,585	3,435	3,233	3,500	3,500
		実績値	3,396	3,286	3,073		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和元年度の出生数3,233人、ブックスタートパック配布数3,073人で、配布率95.1%となり、目標を達成することができなかった。また、4か月児相談受診時だけでなく保健師の家庭訪問時にもブックスタートパックの配布を行っているが、相談受診状況や転出等により、配布率100%の達成は難しい。 (目標達成度)							(達成度) 95.1% 33点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,144	9,847	9,833	9,616
（事業費）	[千円]	2,557	2,285	2,245	2,028
（職員人件費）	[千円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和元年度の出生数3,233人、配布数3,073人で、実際の配布率は95.1%となり、相談受診率・転出等の影響を考慮すると、ほぼ全ての対象者に配布できているものと思われるが、目標値より出生数が下回ったため目標の達成は困難であった。また、コロナウイルス感染症の影響により、3月のボランティア等による読み聞かせの実施を中止した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 第5次高松市子ども読書活動推進計画に基づき、家庭において本と接することが、子どもの生活の一部になるような環境づくりに配慮してまいります。 4か月児相談時に配布するブックスタートパック（絵本・ブックリスト・図書館案内）の配布数の把握に努めるとともに、各図書館で読み聞かせを行うなど、子育て支援と子どもの読書活動の推進に努めてまいります。			

令和 2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	就園等奨励事業		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	私立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、就園奨励費補助金又は就園費補助金を交付し、保護者の経済的負担の軽減と幼稚園教育の振興を図る。また、少子化対策事業の一環として、国立及び私立幼稚園に就園している園児のうち、第2子以降の園児に係る保育料等の一部を助成し、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減に努める。				
2年度概要	私立幼稚園園児健康診断助成事業 私立幼稚園等利用給付費 一時預かり事業利用助成費 副食費補給給付費				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-③	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	補助対象となる私立幼稚園に通う園児
意図（どのような状態にしたいか）	幼稚園教育の振興と少子化対策として、保護者の経済的負担を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R 2
① 私立幼稚園就園奨励費等交付園数	園	19	15	11	18	18
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R 2
待機児童数（4月1日現在）	人	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	224	62	77		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 共働き世帯の増加により、予想を上回る保育需要があったため。 (目標達成度)							(達成度) 0.0% 0点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	419,495	307,800	450,873	837,355
（事業費）	[千円]	411,908	300,238	443,285	829,767
（職員人件費）	[千円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い就園奨励費補助等が廃止となるため、事業が縮小となるが、幼児教育・保育の無償化により、保育料、一時預かり事業の無償化及び、副食費の国基準における免除対象者への給付を行う。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
保育料（月額上限）25,700円、預かり保育（月額上限）11,300円の給付を行う。 また、年収360万円未満の世帯及び第3子の副食費について、月額上限4,500円を給付する。			

令和2年度(31年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	子育て支援対策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	(1) 子育て支援総合情報発信事業(子育てに関する様々な情報提供)のネットワーク化 (2) こども未来ネットワーク会議(子育て支援団体のネットワーク化) (3) 子ども・子育て支援推進計画進捗管理 (4) 「笑顔で子育て展」開催		
2年度概要	1) 子育て支援総合情報サイト「らっこネット」運営・ひとり親家庭向けハンドブック・情報発信事業ほか 2) ネットワーク会議 3) 子ども・子育て支援会議等 4) 「笑顔で子育て展」開催ほか		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	②ソフト事業(法律による実施義務無)


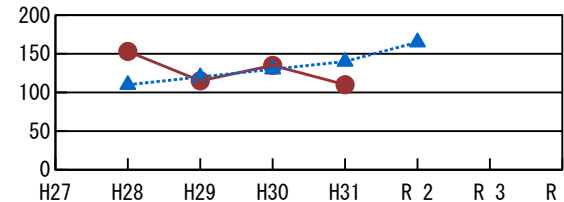

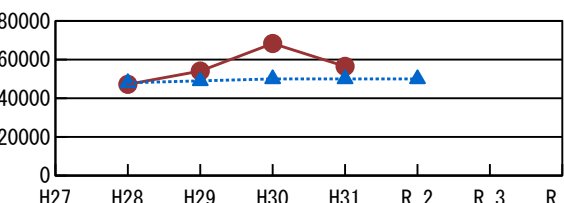
【事業の目的】

対象(何を)	子どもと子育て家庭
意図(どのような状態にしたいか)	家庭や地域における子育て機能を向上させるほか、子育て中の親の孤独感や不安感を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標R2
① 地域組織活動費補助団体数	団体	7	7			
② こども未来ネットワーク会議開催回数	回	6	6	4	5	10

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標R2
ネットワーク会議参加者総数	人	目標値	120	130	140	165	165
		実績値	115	135	110		
成果指標① 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 地域組織活動団体部門の会議開催がなかったため、参加者総数が伸びず、目標を達成できなかった。  (目標達成度)							(達成度) 78.6%
							27点
成果指標② らっこネットアクセス件数	件	目標値	49,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		実績値	54,068	68,323	56,491		
成果指標② 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) らっこネットの情報を提供するなど、周知に努めたためアクセス件数が目標値を上回った。  (目標達成度)							(達成度) 113.0%
							35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	21,191	21,551	21,311	15,366
(事業費)	[千円]	9,886	10,284	10,005	4,060
(職員人件費)	[千円]	11,305	11,267	11,306	11,306

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
こども未来ネットワーク会議の開催により、関係機関と情報交換・共有を行った。子育て支援に関する総合情報発信を行っているが、すべての子育て世帯に情報が行き届いているわけではない。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
タイムリーに随時更新できるネットの特性を生かした情報提供を行い、全ての子育て世帯に情報が行き届くよう様々な機会を周知を図る。			

令和 2年度 (31年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども園運営課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2358
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	多子世帯保育料等減免事業		事業期間	平成28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少・少子化の流れを食い止め、若い世代が2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような施策を推進するため、市独自の幼稚園・保育所等の利用料の第2子以降の多子世帯への上乗せ減免等を実施する。				
2年度概要	○保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業 0歳～2歳児の子どもが同時に在園する第2子及び18歳未満の第3子以降の無料化を実施				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-③	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	①保育所等に同時に在園する第2子及び18歳未満の第3子以降（無料） ②認可外保育施設に在園する就学前の第2子及び18歳未満の第3子以降（月額2万円助成）
意図（どのような状態にしたいか）	子育て世帯の経済的負担を軽減することで、2人目、3人目の子どもを持ちたいと思えるような子育て環境を整備し、出生率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① 保育施設等利用案内の作成部数	冊	17,300	17,500	13,000	18,000	18,000
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
保育所・幼稚園等入所（園）児童数	人	目標値	15,848	16,148	16,148	16,148	16,148
		実績値	15,651	16,050	16,226		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 入所（園）児童数は、増加している。						(達成度) 100.5%	35点
成果指標①							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
成果指標②							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]			0	0
（事業費）	[千円]				
（職員人件費）	[千円]			0	0

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
令和元年10月施行の国の幼児教育保育の無償化に伴い、これまで市単独事業として実施していた「第2子」及び「第3子」以降も含め、3歳児から5歳児の全てと0歳児から2歳児のうち住民税非課税世帯の利用料が無償となる。これに伴い、10月以降、減免内容を一部見直して事業を継続する。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
0歳から2歳までの間に2人の子どもが、同時に在園している場合の2人目の子ども及び、同一世帯で、18歳未満の子どもが3人以上いる場合の第3子以降の子どもの保育料を無償とする。			

令和 2年度（31年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援		電話番号	087-839-2354
	基本事業	地域における子育て支援		事業実施主体	市
	事務事業	こども食堂等支援事業		事業期間	平成30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	核家族や共働き、ひとり親家庭などの増加に伴い、一人で食事をする「孤食」となる子どもが増えている中、子どもの孤食を防止するほか、安らげる場所を確保するため、子どもたちに無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、地域住民とのつながりの強化や学習・生活習慣についての支援も行う「こども食堂」等の開設や運営に係る費用の一部を補助する。
-------	--

2年度概要	【こども食堂運営補助等】※①は開設年度のみ、②～④は最大3年間 ①初期経費：上限100,000円 ②運営補助（開催）：月額4,000円又は8,000円 ③運営補助（食数）：1食あたり150円 ④多世代交流加算：1回あたり500円
-------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-⑨	事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	-----	---------	--------------------


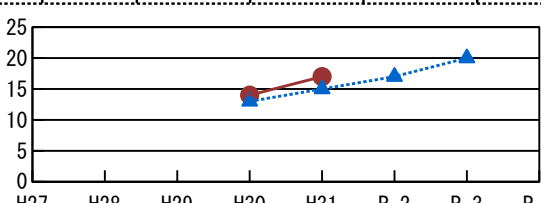
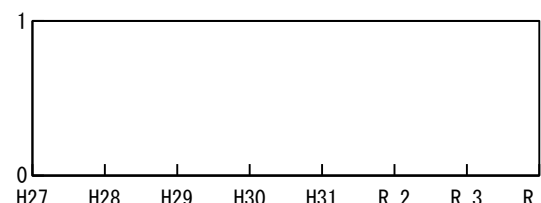
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内のすべての子ども
意図（どのような状態にしたいか）	食事の提供を行うだけでなく、子どもが家で1人で過ごす時間をなくし、安心できる居場所となるよう、こども食堂の設置及び継続的・安定的な運営の確保を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
① こども食堂延べ助成か所数	か所		1	2	4	16
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
こども食堂等箇所数	か所	目標値		13	15	17	17
		実績値		14	17		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 子どもの居場所となる子ども食堂について、機会あることに周知しており、賛同者による子ども食堂の開設が増え、目標が達成できた。 							(達成度) 113.3%
							35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]		1,087	1,062	1,470
（事業費）	[千円]		255	303	711
（職員人件費）	[千円]		832	759	759

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

子どもたちに無料又は安価で温かく栄養バランスの取れた食事を提供する「子ども食堂」等へ、開設及び運営補助を行った。補助申請団体が少ないため、周知方法等の検討が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

こども食堂を実施するすべての団体に情報が行き届くよう、様々な機会でも周知を行う。また、容易に申請できるようにするため、補助要件の見直しを検討する。